11月11日～17日　税を考える週間　－新潟税務署－

国税庁では、平成16年度から「税を知る週間」を「税を考える週間」に改称しました。

「高齢社会を支える税」をテーマとして税情報を提供するとともに、**「消費税法の改正」**、**「国税電子申告・納税システム（e－Tax（イー タックス））」**についてお知らせします。

国を支える税について、是非この機会に考えてみましょう。

税について考えましょう

●わが国経済社会の構造変化

平成16年6月、政府税制調査会の基礎問題小委員会により、「わが国経済社会の構造変化の『実像』について」と題した報告書がまとめられました。

構造変化の中で、わが国は「人口減少社会」にあり、今世紀半ばには、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者という「超高齢化社会」が到来することが予測されています。

●高齢社会を支える税

高齢化の進展に伴い、社会保障の給付と負担の増大が見込まれ、必要な公的サービスを行うために、その財源となる税の役割はますます重要になります。

その税を、だれが、どの程度、どのように負担していくべきなのでしょうか。

経済社会の構造変化に対応するため、私たちもまた、税の果たす役割を理解し、税のあり方について真剣に考えていく必要があります。

便利なe－Taxを是非ご利用ください！

自宅やオフィスでできる
国税電子申告・納税システム

所得税、法人税及び消費税の**申告**、すべての税目の**納税**、**申請・届出等**ができます。

詳しくは国税庁ホームページ（http://www.nta.go.jp）をご覧いただくか、最寄りの税務署または税務相談室にお尋ねください。

週間中の主な活動

・国税庁ホームページ、テレビ、ラジオ等による広報
・国税モニターや地域社会の方々との意見交換、税に関する作文の表彰　ほか

ご存知ですか？

●消費税法の改正

消費税の届出と記帳等の準備はお済みですか？

～新たに課税事業者となる個人事業者の方へ～

- **課税事業者届出書の提出がお済みでない方は速やかに！**
- **課税事業者は日々記帳を適切に！**

消費税の事業者免税点が、3,000万円から1,000万円に引き下げられました。

平成15年分の課税売上高が1,000万円を超える個人事業者の方は、平成17年分消費税の課税事業者となり、平成17年1月から帳簿の記載や請求書等の保存が必要です。

この社会
あなたの税がいきている

●●年末調整説明会●●

横越町内の事業所を対象に、平成16年度源泉所得税年末調整説明会を開催します。
なお、事前に送付しました資料をご持参ください。

◆日時・会場　11月17日㈬　亀田町役場　3階会議室　午前10時～11時30分　午後1時30分～3時
◆問い合わせ　新潟税務署　法人課税第二部門　☎229－2151

新潟県知事選挙投開票結果

任期満了に伴う新潟県知事選挙の投票が、10月17日に町内8か所の投票所で行われ、役場で即日開票されました。

なお、横越町における投開票結果は次のとおりでした。

◆有権者数　8、977人
◆投票総数　4、505票
◆うち無効票等　87票
◆投票率　50.18％

候補者名（届出順）	得票数
こばやし一三	1,308票
かわまた幸雄	136票
いずみだ裕彦	1,153票
たが秀敏	1,161票
伊藤ゆうじ	387票
みやこし馨	273票

“安心”は国民年金に加入することから

現役時代から老後までの長期間には、予測できないことがいろいろあります。国民年金などの公的年金は、誰にとってもやがて訪れる老後の生活保障の不確定要因を解消する第一の方法です。

老齢基礎年金の受給開始年齢である65歳時の平均余命は、男性が18・02年、女性が23・04年で（平成15年）、この数字は年々伸びています。長寿は喜ばしいことですが、老後に自分がどれくらい生きるかは、あらかじめ分かりません。

また、長い老後生活の保障を、自分の子どもに頼るだけでは万全とは言えません。貯蓄などで備えることも大切ですが、将来の社会経済がどうなっているのか、どれくらいの備えが必要かは、誰にも分かりません。

このような老後を、社会全体で支える仕組みが国民年金などの公的年金制度です。

しかも、国民年金は老後だけではなく、病気やけがで障害が残り働けなくなったときの障害年金や、万が一亡くなられたときの遺族（子どもがいる場合）保障もあります。

世論調査では、老後の生活保障を「自助努力」でと考えている人は2割程度しかおらず、「公的年金を中心に」と考えている人が7割に上がっています。

国民生活基礎調査によれば、平成14年の高齢者世帯の年間所得は304万6千円で、そのうち「公的年金・恩給」が204万1千円、「仕送り等」が13万3千円となっており、「公的年金・恩給」が所得の約7割を占めています。また、公的年金・恩給を受給している高齢者世帯の中で、「公的年金・恩給の総所得に占める割合が100％の世帯」は61・2％となっており、高齢者の生活を担う公的年金の役割はますます高まっています。

そのため政府は、「社会経済と調和した持続可能な制度の構築」と「制度に対する信頼の確保」を目指して、年金制度改革を実施しました。

国民年金への未加入者は約60万人、保険料未納者は約320万人います。国民年金に加入し、保険料を納付しなければ、年金制度の恩恵を受けることはできません。すべては、国民年金に加入し、保険料を納付することから始まります。

◆問い合わせ　町民生活課　年金係　☎385―2111

俳句（公募作品）

句題　月見（つきみ）　盆踊（ぼんおど）り　胡桃（くるみ）

月見台畑の穫りたてたんと盛り　東町　高橋　鴉子
招かれて亡き師の詩や月見の宴　東町　細山芳洲子
青胡桃成りにしげり流人塚　木津　石井　楽秋
旅終る飛騨の土産に胡桃餅　川根町　菊地　隆夫
裏庭の祖父の残せし胡桃落ち　川根町　菊地　栄子
大阿賀に流るる儘よ月見船　中央　神田　初鳥
名月を酒の肴に差し向い　二本木　今井　峰雪
万歩計腰にふたりの月見かな　川根町　本間　蒼
釣舟のマストの灯り無月かな　川根町　佐久間正岳
膝の猫なでて手酌の月見かな　川根町　神田　恵子
孫たちの月見に飾る兎の絵　川根町　高橋　惣士
お月見の宴清酒派と焼酎派　中央　谷井野武士
歸省子のすぐに解け込む踊の輪　木津　保科　蘭山
月祀る卓に野の幸山の幸　木津　坪谷　耕雨
葉付き芋株ごと供へ月祀る　木津　越野　春
月見る夜母は繰言楽しんで　川根町　滝沢　エツ
更けてより拍子高まる盆踊り　東町　市村横雲子
刳り鉢に膝曲げ捏る月祭　木津　今井　清水
月祭る天の恵に生きる職　木津　宇野　多収
背なの子をあやしながらの月見かな　沢海　田辺　岳乃
手作りの団子にすすき月祭る　沢海　渋谷　ウタ
黄金の垂穂の上に月を見る　木津　今井　成治
笛の音を川越に聞く盆踊　木津　伊藤十四秋
盆踊り賞の付く時輪も太し　木津　宇野　水夢
くるみ踏む運動靴は黒くなり　木津　宇野　勝幸
手招きに誘われ輪に入る盆踊り　木津　笠原　茶山
地の恵み盛って感謝の月祭る　木津　今井　夫子
習いきて祖母にも教え盆踊り　二本木　中川　照月
摘みし子と野の草活けて月を待つ　二本木　村木緋佐子
何もかも忘れ一夜の盆踊り　二本木　藤崎　春子
間引菜や酒のつまみに胡桃和え　二本木　藤崎　道子
胡桃割る姥の仕事の小半日　二本木　渋谷　実生
盆踊り手真似足真似三世代　新津市　坂爪よう子